

『茨城県研究開発支援型企業技術展示会 on the web』開催 (2022.1.27~2022.3.31)

茨城県、いばらき成長産業振興協議会、いばらき量子線利活用協議会では、県内中小企業の製品・技術力を大学・研究機関等の研究者にPRし、企業と研究機関等との交流・連携促進を図るため、研究開発支援型企業技術展示会をオンラインで開催しています。

製造加工、計測制御、情報ソフトウェア、真空技術、航空・宇宙、原子力など、さまざまな分野において皆様の研究・開発をお手伝いできる企業が集結しました。会員企業からの展示も15社より行われています。

展示は企業ごとに行われています。

<https://isssk-webtenji.jp/>

【主催】茨城県、いばらき成長産業振興協議会、いばらき量子線利活用協議会

【会期】2022年1月27日~2022年3月31日（予定）

【出展企業】25社

- ・製造加工：15社
- ・計測制御：9社
- ・情報・ソフトウェア：6社
- ・真空技術：1社
- ・航空宇宙：6社
- ・原子力：3社
- ・エンジニアリング：4社
- ・その他：10社

出展企業について

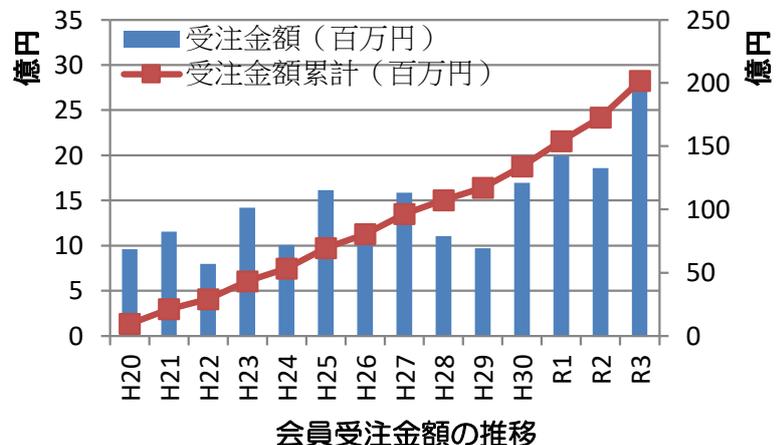
- ・研究者の皆様へのご提案
 - ・Sales Points
 - ・当社が提供できる技術
 - ・認証取得・資格等
 - ・製品実績例
 - ・企業・担当差情報
- という構成で表示されています。

ぜひ出展企業ページを訪問して皆様の事業の参考にさせていただきようお願いします。



会員企業による受注状況について

毎週1回、茨城県、原子力機構、高エネ研、CROSSからの入札情報を配信しておりましたが、会員企業の皆様にさらに役立つ情報を配信すべく、昨年9月からは量研機構の入札情報も配信を開始いたしました。本年度は47回（R4.3.22現在）の入札情報を発信し、会員企業の皆様の受注金額の合計は12月末の時点で29.2億円にも上りました。これまで20億円を超えた年度はありませんでしたので、本年度は皆様に多くの案件を受注いただけたこととなります。令和3年度全体の結果がまとまるのは令和4年6月ごろになりますが、過去の実績を大きく上回ることが期待されます。量研機構からの入札情報や、増加の傾向がみられる原子力機構（J-PARC）の運転・保守管理に関する情報など、これからも皆様のお役に立つ情報を配信してまいりますので、ぜひともご活用ください。



『QSTによる量子線利活用よろず相談会』は来年度に延期

量子線とは何？どのような使い方ができるの？量子科学技術研究開発機構(QST)の研究者・技術者が実例を含めて懇切丁寧に説明、相談にのってくれるよろず相談会を2月16日（水）に開催を予定していましたが、今般のコロナウイルス オミクロン株の急速なまん延拡大の状況から、皆様の安全を確保しての相談会開催が困難であると判断し、誠に残念ではありますが、開催を延期することと致しました。

参加をご検討して頂いた皆様にはご迷惑をお掛けすること、誠に申し訳ありません。

延期後につきましては、コロナが終息し、安全な環境で開催ができる時期と考えており、その際は再度ご案内をさせていただきます。

引き続き、いばらき量子線利活用協議会の活動にご協力を頂きますよう宜しくお願いいたします。

会員(法人)異動のお知らせ (R4/3月22日現在/敬称略)

- ◆ 新規入会 (合計会員企業数：229社)
 - ・(株)クリアライズ (ひたちなか市)